（別添資料１）

事業所名　ことばとこころの教室　カナデル　二の宮公園教室

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2025 年　1 月　15 日

法人（事業所）理念		発達障がいを持つ子どもが、その人らしい豊かな人生を送れる社会をつくる			
支援方針		個々の児童の心身の発達状態を踏まえて、日常生活における動作の習慣や、環境への適応を支援し、指導及び訓練を行う。 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関、教育機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。 専門職（保育士、言語聴覚士、心理指導担当職員など）による１対１の個別療育や、小集団（1対2～3名）による療育を提供します。			
営業時間		8 時　30 分から　17 時　30 分まで		送迎実施の有無	なし（保護者同席の療育のため）
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・お子さんの興味・関心に合わせた教材や活動を用意し、定期的に通っていただくことで、お子さんの生活リズムを作るお手伝いをします。 ・人との関わり合い、コミュニケーション、小学校の活動に必要な行動などを習得できるよう支援し、日常生活動作を身に付けていきます。 ・個別療育ではパーティションを活用するなどして、お子さんが活動に参加しやすい環境を作ります。			
	運動・感覚	・遊びの中で、自分の体を知り、使い方を身に付けていきます。姿勢、運動・動作の基本的技能の向上を目指します。一人ひとりの感覚の特性を踏まえて支援します。 ・座った姿勢を維持しやすいよう、お子さんに合わせた椅子や机を用意します。特性に応じた感覚の導入や粗大運動を通して、体の使い方や力の加減の仕方を学ぶ機会を作ります。微細運動を通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします。			
	認知・行動	・遊びを通して，環境から情報を修得し、行動につなげるという認知機能の発達を促します。パズルや具体的な物や絵カードを使った活動を通して、物の機能、属性、形、色、大きさや重さなどの物の様子について、言葉と結びつけながら、抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。数量や数字の順番など、数に関することを段階的に学べるようにします。 ・認知・行動の手がかりとなるような概念を形成していけるよう、さまざまな活動をおこないます。			
	言語 コミュニケーション	・「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて行動したり発言したりすると相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を身につけられるよう機会を捉えて支援します。言葉の理解・表現の課題を通して、日常生活で使える言葉の種類を増やします。 ・読み書きに対する学習支援（サポート）			
	人間関係 社会性	・個別療育では、お子さんと療育者が１対１の中で、療育者がお子さんの強みをたくさんみつけて肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを経験してもらいます。活動や遊びの中で、相手の行動を模倣することを促します。 ・活動内容や課題を行う順番など、教室での過ごし方についてお子さんと一緒に計画し、お子さん自身の意思決定につながる支援をします。			
家族支援		・家族が安心して子育てができるよう，地域や家庭の状況を踏まえ，保護者の気持ちを受けとめ，保護者の自己決定を尊重しながら，きょうだいを含めた家族の負担を軽減していくための物理的・心理的支援を行います。		移行支援	・必要に応じて、併給している教室や小学校の先生とお子さんの様子や支援方針について、情報共有をします。
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携を行う。 ・支援を利用することでこどもが地域で適切な支援を受けられるよう，関係機関と連携するとともに，地域全体の子育て支援力を高めるためのネットワークを構築します。		職員の質の向上	・導入研修ではOff-JT/OJTによるスタッフ研修を実施しています。毎週開催のスタッフミーティングでは、現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有します。職員の外部研修への参加も奨励しています。
主な行事等		・子どもの日やクリスマス、ハロウィーンなどの季節の行事を取り入れた療育や製作などをおこないます。　※個別療育につき、利用者全員による行事は行っていません			